



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の位置づけ
- 3. 各部の名称
 - 3.1. フォーム編集画面
 - 3.2. アプリケーション実行画面
 - 3.3. アノテーション起票画面
- 4. アノテーションアイテムを設定する
 - 4.1. アノテーションアイテムを設定する
 - 4.2. アイテムのサイズを変更する
 - 4.3. コントロールバーやCanvasのスタイルを変更する
 - 4.4. 権限設定を行う
 - 4.4.1. 画像やレイヤーの編集権限について
 - 4.4.2. 画像追加設定
 - 4.5. Tiff出力設定
- 5. アノテーションアイテムを操作する
 - 5.1. 画像を登録する
 - 5.2. ページを切り替える
 - 5.3. 画像の順番を入れ替える
 - 5.4. 画像の拡大／縮小を行う
 - 5.5. 画像を移動する
 - 5.6. アノテーションを追記する
 - 5.7. 元に戻す(UNDO)、やり直し(REDO)を行う
 - 5.8. レイヤー一覧を表示する
 - 5.9. アノテーションを検索する
- 6. アノテーションを利用する
 - 6.1. アノテーション起票画面からフローを起票する
 - 6.2. Tiff化処理の実行状態を確認する
- 7. ジョブを設定する

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2014-07-01	初版作成
------------	------

2014-09-01	第2版 下記を追加・更新しました。
------------	-------------------

- 「[Tiff化処理の実行状態を確認する](#)」
 - 「[フォーム編集画面](#)」
 - 「[アプリケーション実行画面](#)」
-

2015-08-01	第3版 下記を追加・更新しました。
------------	-------------------

- 「[フォーム編集画面](#)」のプロパティダイアログ詳細設定にレイヤー数設定、履歴設定を追加
 - 「[フォーム編集画面](#)」にTiff画像、履歴画像の出力先を追加
 - 「[Tiff出力設定](#)」にTiff圧縮形式設定を追加
 - 「[ジョブを設定する](#)」を追加
-

はじめに

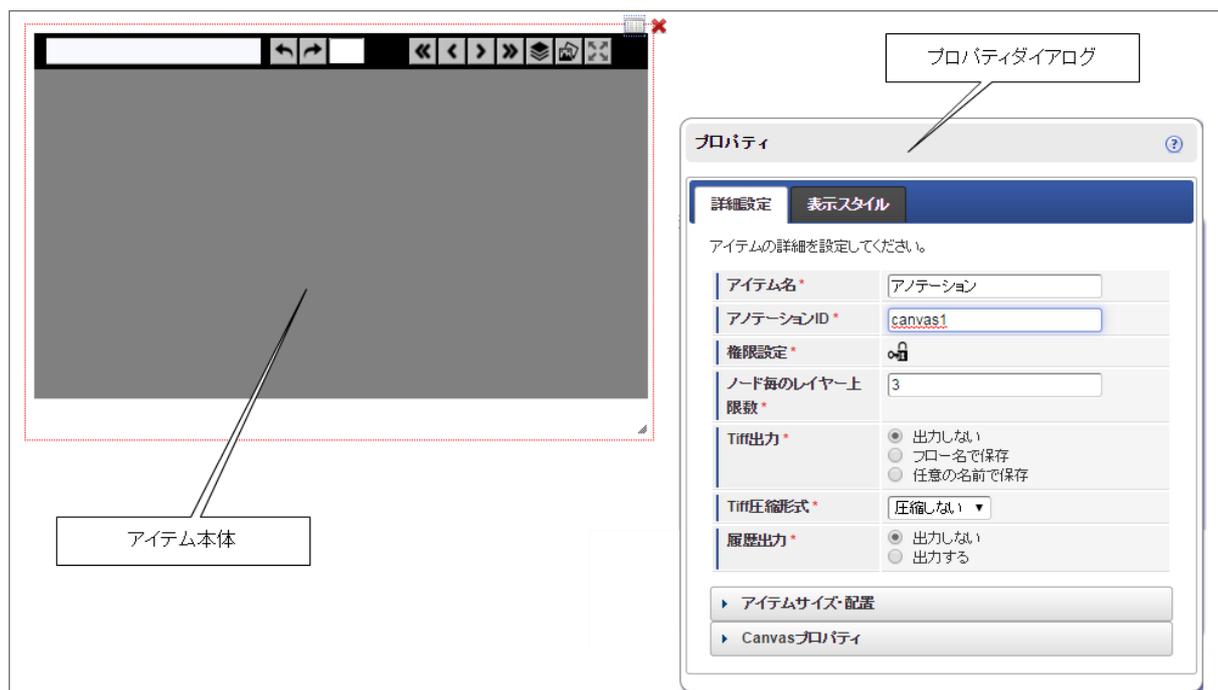
本書の位置づけ

本書は、株式会社NTTデータイントラマート（以後、当社）が提供する IM-BIS for Accel Platform（以後、BIS）向け拡張モジュールである「IM-Annotation for Accel Platform」の操作マニュアルであり、以下のユーザを対象としています。

1. アノテーションアイテムを利用して画面を作成する業務管理者
2. アノテーションアイテムを利用して画面操作するエンドユーザ
3. アノテーション機能を利用して起票を行うエンドユーザ

各部の名称

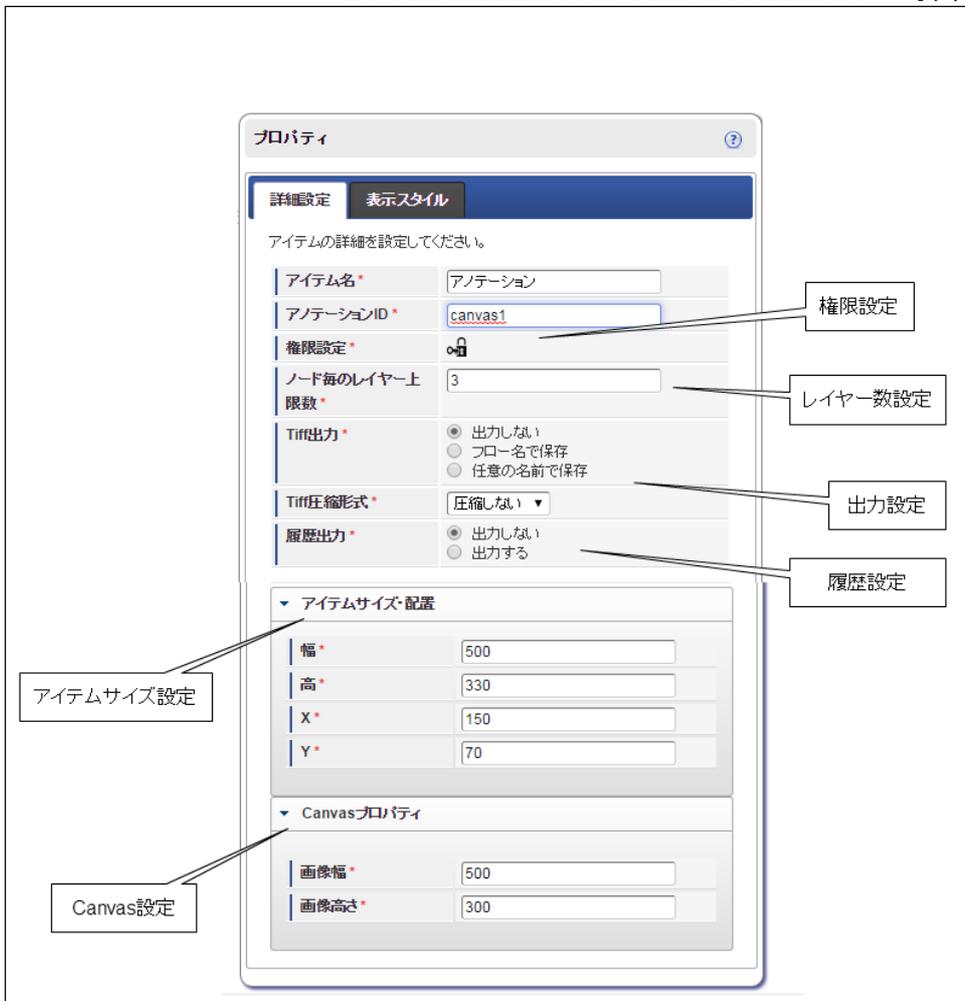
フォーム編集画面



【図：フォーム編集画面】

各部名称	説明
アイテム本体	アノテーションアイテム本体
プロパティダイアログ	アイテムプロパティ設定ダイアログ

【表：フォーム編集画面】



【図：プロパティダイアログ詳細設定】

各部名称	説明
アイテム名	このアイテムに対する論理名
アノテーションID	このアイテムに対する物理名
権限設定	取り込みした画像に対する権限設定
レイヤー数設定	ノード毎のレイヤー上限数設定
出力設定	取り込みした画像に対するTiff画像出力設定
履歴設定	ノード毎の履歴画像出力設定 storageに各ノード処理時点での画像を保存
アイテムサイズ設定	アイテムサイズに関する設定
Canvas設定	アイテムに表示するCanvas（画像）サイズに関する設定

【表：プロパティダイアログ詳細設定】



コラム

Tiff画像、履歴画像の出力先パスは以下の通りです。

Tiff画像 <%PUBLIC_STORAGE_PATH%>/annotation/フローID/アノテーションID/ユーザーデータID/

履歴画像 <%PUBLIC_STORAGE_PATH%>/annotation/フローID/アノテーションID/ユーザーデータID/タスクID/



【図：プロパティダイアログ表示スタイル】

各部名称	説明
コントロールバー設定	コントロールバースタイルに関する設定
Canvasスタイル設定	Canvasスタイルに関する設定

【表：プロパティダイアログ詳細設定】



【図：プロパティダイアログ権限設定】

各部名称	説明
画像追加権限設定	画像追加に関する権限設定

【表：プロパティダイアログ権限設定】

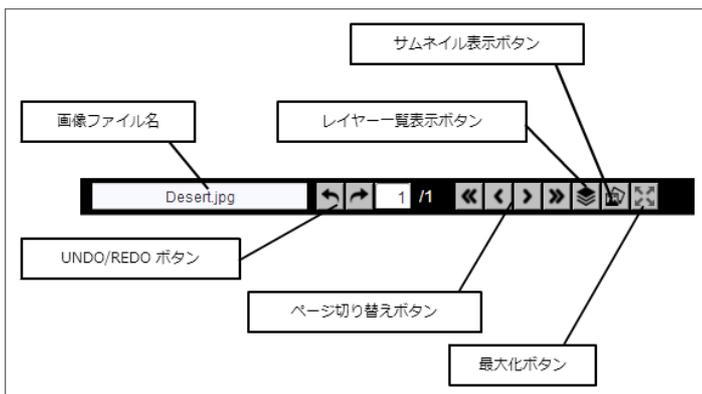
アプリケーション実行画面



【図：アプリケーション実行画面】

各部名称	説明
コントロールバー	現在編集中の画像情報を表示します。
プロパティダイアログ	操作パレットを表示するダイアログです。
Canvas領域	画像領域本体です。

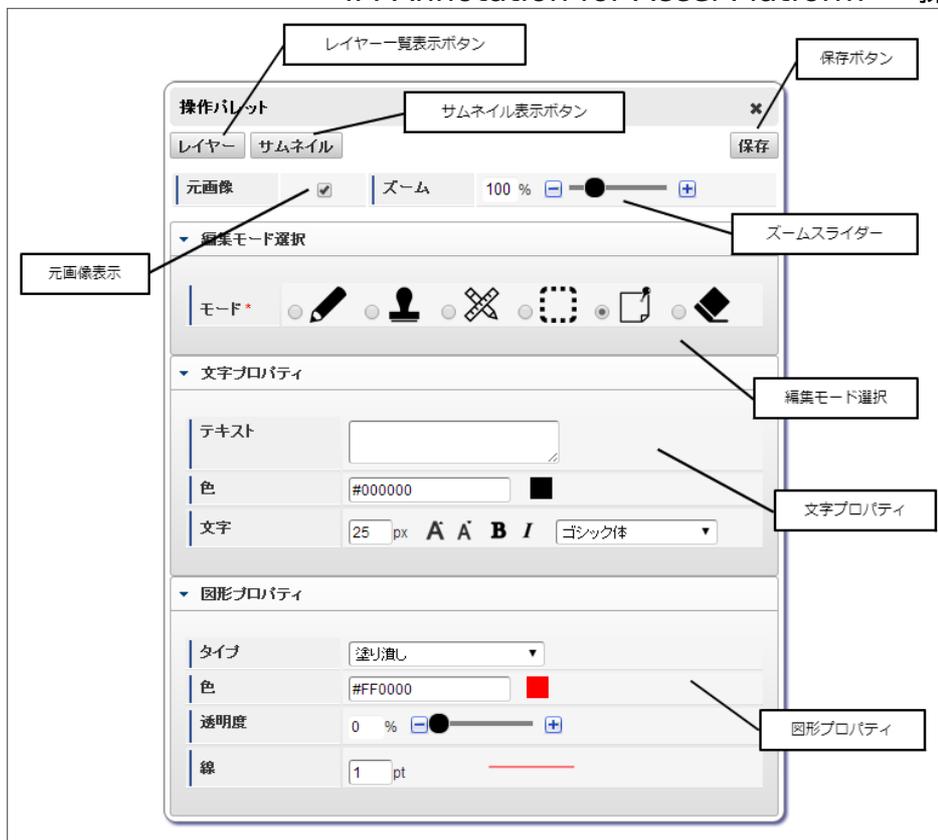
【表：アプリケーション実行画面】



【図：コントロールバー】

各部名称	説明
画像ファイル名	選択中の画像ファイル名を表示します。
UNDO/REDOボタン	編集中のレイヤーに対して「元に戻す(UNDO)」、「やり直し(REDO)」を行います。
ページ切り替えボタン	画像のページ切り替えを行います。
レイヤー一覧表示ボタン	選択中の画像に対するレイヤー一覧を表示します。
サムネイル表示ボタン	アイテムに設定されている画像一覧を表示します。
最大化ボタン	アノテーションアイテムを画面全体に表示します。

【表：コントロールバー】



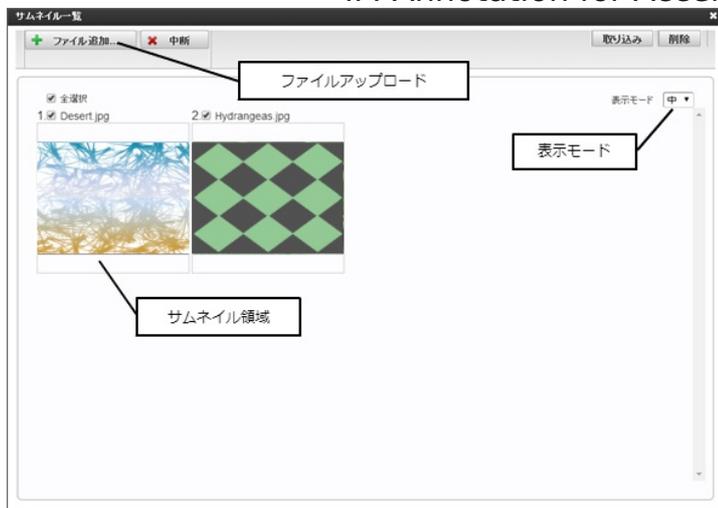
【図：レイヤーダイアログ】

各部名称	説明
レイヤー一覧表示ボタン	選択中の画像に対するレイヤー一覧を表示します。
サムネイル表示ボタン	アイテムに設定されている画像一覧を表示します。
保存ボタン	編集したレイヤーを確定させます。
元画像表示	背景画像の表示／非表示を切り替えます。
ズームスライダー	画像の拡大／縮小を行います。
編集モード選択	レイヤー編集モードの切り替えを行います。
文字プロパティ	文字編集のプロパティ設定領域
図形プロパティ	図形編集のプロパティ設定領域

【表：レイヤーダイアログ】

i コラム

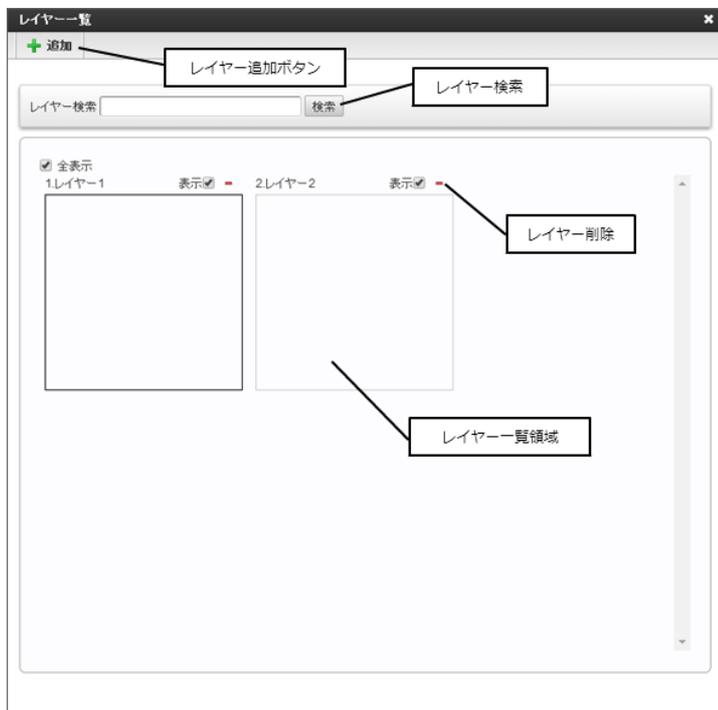
文字・図形プロパティは編集モードによって変わります。



【図：サムネイルダイアログ】

各部名称	説明
ファイルアップロード	元画像となるファイルをアップロードします。
取り込みボタン	アップロードした元画像を確定させます。
削除ボタン	元画像を削除します。
表示モード	元画像の表示サイズを変更します。
サムネイル領域	アップロードした元画像一覧を表示します。

【表：サムネイルダイアログ】



【図：レイヤー一覧ダイアログ】

各部名称	説明
レイヤー追加ボタン	レイヤーを新規追加します。

各部名称	説明
レイヤー検索	検索条件で設定した文字が描画されているレイヤーを検索します。 編集モード「stamp」「annotation」で記載した文字列が対象です。
レイヤー削除	レイヤーを削除します。
レイヤー一覧領域	対象の元画像に紐づくレイヤー一覧を表示する領域です。

【表：レイヤー一覧ダイアログ】

アノテーション起票画面



【図：アノテーション起票画面】

各部名称	説明
起票フロー選択	アノテーションアイテムが設定されているフローを選択します。
案件名	フロー起票時の案件名を入力します。
対象Canvas	案件起票時にサムネイル内の画像を紐づけるアノテーションアイテムを選択します。
サムネイル領域	案件起票時にアノテーションアイテムに紐づける画像を登録します。
起票ボタン	案件を起票します。

【表：アノテーション起票画面】

アノテーションアイテムを設定する

アノテーションアイテムを設定する

アノテーションアイテムを配置するには IM-FormaDesigner for Accel Platform（以後、Forma）の「フォーム編集画面」の「ツールキット」より「アノテーションアイテム」を選択し、「ドラッグ&ドロップ」操作で配置します。



【図：アノテーションアイテムの配置】

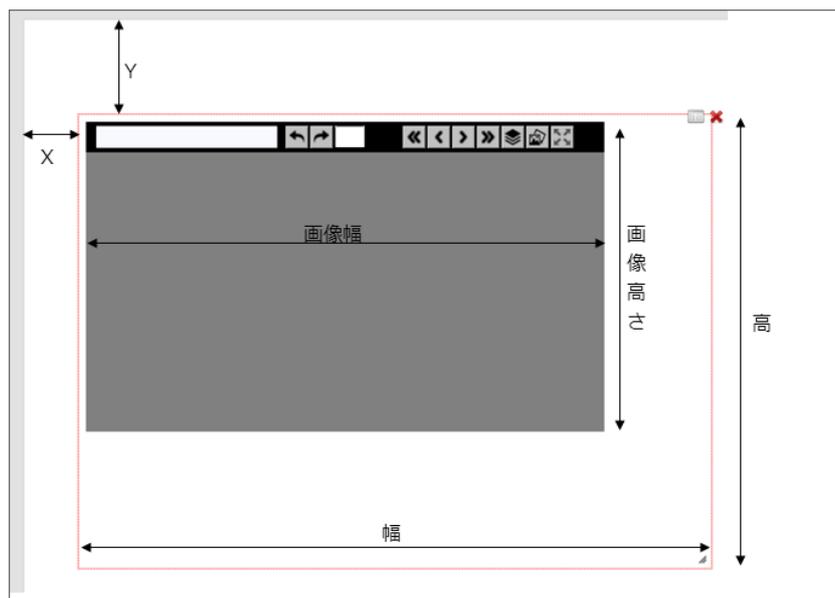
アイテムのサイズを変更する

「アイテムプロパティ - 詳細設定」の「アイテムのサイズ・配置」および「Canvasプロパティ」の値を編集することによりアイテムのサイズを変更します（【図：アイテムサイズの変更】）。

また、各値の意味は【図：アイテムサイズ・配置】の通りです。



【図：アイテムサイズの変更】



【図：アイテムサイズ・配置】

各部名称	説明
幅	アイテムの幅
高	アイテムの高さ
X	画面の左端を起点としたアイテムの左端までの距離
Y	画面の上端を起点としたアイテムの上端までの距離
画像幅	Canvasの幅
画像高さ	Canvasの高さ

【表：アイテムサイズ・配置】

コラム

「アイテムのサイズ・配置」および「Canvasプロパティ」の値はピクセル単位で入力してください。

コントロールバーやCanvasのスタイルを変更する

「アイテムプロパティ-表示スタイル」の項目を編集することにより、コントロールバーやCanvasのスタイルを変更することが出来ます。



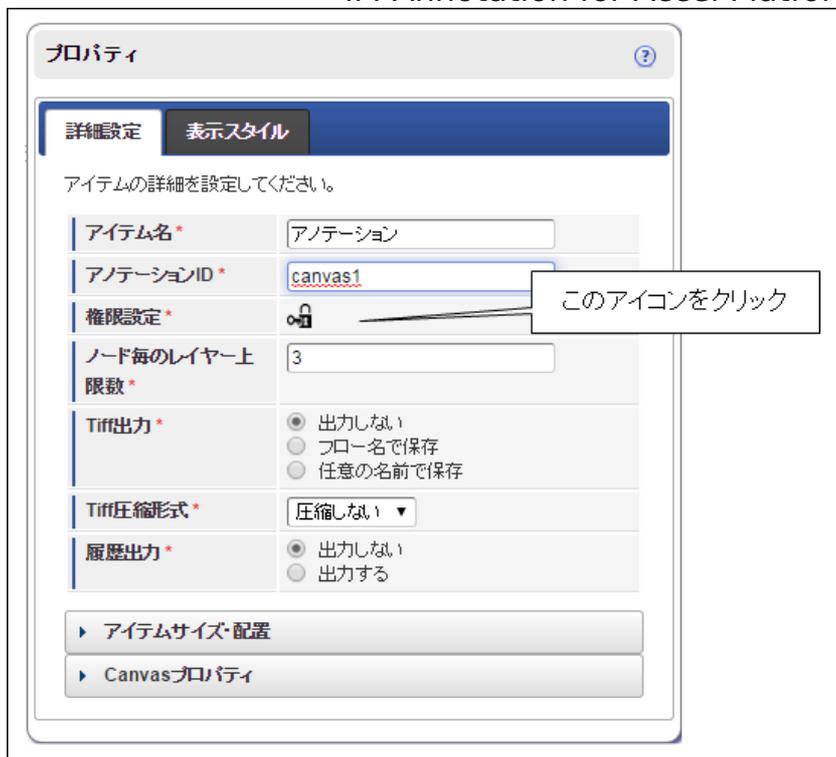
【図：スタイルの変更と変更後のイメージ】

各部名称	説明
グラデーションパターン	コントロールバーの色を指定します。 設定は以下の項目を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> 「無し」（単色塗りつぶし） 「縦方向」（上から下へのグラデーション） 「横方向」（左から右へのグラデーション）
コントロールバーの色1	グラデーションの始点の色を設定します。（「無し」の場合はこの値が適用されます。）
コントロールバーの色2	グラデーションの終点の色を設定します。
枠のスタイル	Canvas領域の枠線のスタイルを設定します。
枠の太さ	Canvas領域の枠線の太さを設定します。（ピクセル単位）
枠の色	Canvas領域の枠線の色を設定します。
背景色	Canvas領域の背景色を設定します。

【表：スタイル設定】

権限設定を行う

「アイテムプロパティ-権限設定」アイコンをクリックすることにより、権限設定ダイアログが表示されます。



【図：権限設定ダイアログ表示】



【図：権限設定ダイアログ】

項目

- [画像やレイヤーの編集権限について](#)
- [画像追加設定](#)

画像やレイヤーの編集権限について

操作内容	説明
画像の追加・削除	画像が設定されていない場合、追加することができます。 画像が設定されている場合、画像の追加・削除ができます。 「画像追加設定」で「画像の追加ができる」を設定した場合は、他のノードでも画像の追加・削除が可能です。
レイヤーの追加・削除	レイヤーはノード単位で作成されます。 他のノードで作成されたレイヤーを削除することはできません。
アノテーションの追記	現在処理中のノードで作成されたレイヤーにアノテーションの追記ができます。 他のノードで作成されたレイヤーにアノテーションを追記することはできません。

【表：画像やレイヤーの編集権限】

画像追加設定

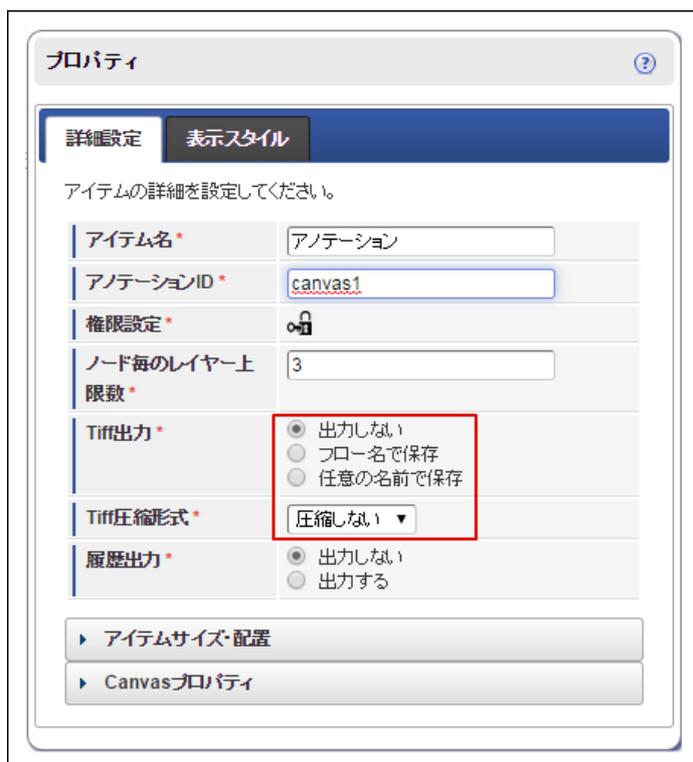
画像追加設定	説明
画像の追加ができない	最初に画像が追加されたノード以外は、画像の追加と削除をすることができません。 サムネイル画像が設定されていない場合は、どのノードでもサムネイル画像を追加することが出来ます。
画像の追加ができる	ユーザは任意のタイミングでサムネイル画像を追加することができます。

【表：画像追加設定項目】

Tiff出力設定

案件終了時に画像ファイルをTiffファイルとして出力する設定を行います。
設定の手順は以下の通りです。

1. 「アイテムプロパティ - 詳細設定」の「Tiff出力」「Tiff圧縮形式」を変更します。



【図：Tiff出力】

Tiff出力	説明
出力しない	案件終了時にアノテーションアイテムに登録されている画像をTiffファイルとして出力しません。
フロー名で保存	案件終了時にアノテーションアイテムに登録されている画像をTiffファイルとして出力します。 その際、ファイル名をフロー名で出力します。
任意の名前で保存	案件終了時にアノテーションアイテムに登録されている画像をTiffファイルとして出力します。 その際、ファイル名を任意の名称で出力します。

【表：Tiff出力設定】

Tiff圧縮形式	説明
圧縮しない	Tiff画像を無圧縮で出力します。
Zlib形式	Tiff画像をZIP圧縮で出力します。
JPEG形式	Tiff画像をJPEG圧縮で出力します。

【表：Tiff圧縮形式設定】

**注意**

Tiff圧縮形式にJPEG形式を選択した場合、圧縮できる画像は、不透明な RGB およびグレースケール画像のみです。
透過画像はJPEG形式で圧縮できません。
透過画像を圧縮する場合は、Zlib形式を利用してください。

- ワークフローのコンテンツ定義にて、ユーザプログラムを設定します。
「サイトマップ」→「ワークフロー」→「ワークフロー管理者」→「マスタ定義」→「コンテンツ定義」をクリックします。
Tiff出力を実施するコンテンツ定義を選択し、「ユーザプログラム」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: 5ieniaw2q2jg0a5
コンテンツ名: Annotation

基本情報 | 画面 | **ユーザプログラム** | メール | IMBox | ルール

新規作成

編集	画面名	画面種別	パス種別	備考	初期使用
	一時保存画面	一時保存画面	スクリプト開発モデル		
	過去案件詳細画面	過去案件詳細画面	スクリプト開発モデル		
	確認画面	確認画面	スクリプト開発モデル		
	確認詳細画面	確認詳細画面	スクリプト開発モデル		
	再申請画面	再申請/処理開始画面	スクリプト開発モデル		
	参照画面	参照詳細画面	スクリプト開発モデル		
	処理画面	処理画面	スクリプト開発モデル		
	処理詳細画面	処理詳細画面	スクリプト開発モデル		
	申請画面	申請/処理開始画面	スクリプト開発モデル		
	未申請画面	申請(起票案件)/処理開始画面	スクリプト開発モデル		

**コラム**

コンテンツ名は、対象のBIS定義のBIS名が設定されます。

- 「新規作成」をクリックします。

コンテンツ定義 - バージョン - 編集

戻る | コンテンツコピー | バージョンコピー

コンテンツID: 5ieniaw2q2jg0a5
コンテンツ名: Annotation

基本情報 | 画面 | **ユーザプログラム** | メール | IMBox | ルール

新規作成

編集	プログラム名	プラグイン種類	対象ノード	備考	初期使用
	BAMアクション処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請/処理開始ノード		
	BAMアクション処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	承認/処理ノード		
	BAM案件終了処理	【案件終了処理】スクリプト開発モデル			
	サブプロセスステータス更新処理	【案件終了処理】スクリプト開発モデル			
	メインプロアクション処理	【到達処理】スクリプト開発モデル	終了ノード		
	案件プロパティ設定処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	承認/処理ノード		
	案件プロパティ設定処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請/処理開始ノード		
	承認アクション処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	承認/処理ノード		
	申請アクション処理	【アクション処理】スクリプト開発モデル	申請/処理開始ノード		

- ユーザプログラム定義情報を入力します。

プログラム名(必須)	英語	TiffOutput
	日本語	Tiff出力
	中国語(中華人民共和國)	Tiff出力
プラグイン種別(必須)	案件終了処理	
プラグイン種類(必須)	【案件終了処理】スクリプト開発モデル annotation/common/user_program/matter_end_process	
備考	英語	
	日本語	
	中国語(中華人民共和國)	
初期使用	<input checked="" type="checkbox"/> フローの初期設定で使用する	
実行順番(必須)	1	

登録

【図：ユーザプログラム定義】

ユーザプログラム定義情報

情報	説明
プログラム名	任意の名称を登録します。
プラグイン種別	「案件終了処理」を選択します。
プラグイン種類	「【案件終了処理】スクリプト開発モデル」を選択します。 クラスパスに「annotation/common/user_program/matter_end_process」を入力します。
実行順番	プログラムの実行順を半角数字で入力します。 実行順の指定に制約はありません。

【表：ユーザプログラム定義】

- 「登録」をクリックします。

- ユーザプログラム定義情報を登録することができました。
これで案件終了時にTiff出力を行うための設定ができました。

アノテーションアイテムを操作する

項目

- 画像を登録する
- ページを切り替える
- 画像の順番を入れ替える
- 画像の拡大／縮小を行う
- 画像を移動する
- アノテーションを追記する
- 元に戻す(UNDO)、やり直し(REDO)を行う
- レイヤー一覧を表示する
- アノテーションを検索する

画像を登録する

1. 「コントロールバー」の「サムネイル」ボタンを押下し、サムネイルダイアログを表示します。



【図：サムネイルボタン】

2. サムネイルからファイルをアップロードし「取り込み」ボタン押下で登録します。

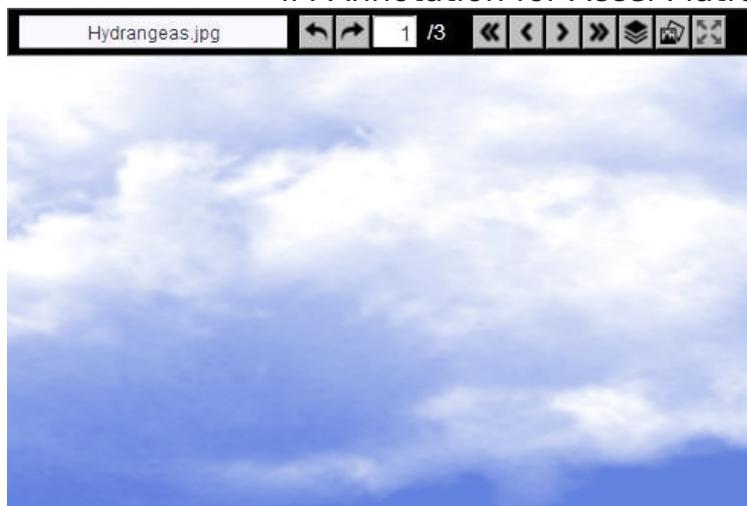


コラム

追加できる画像ファイルは「PNG」「JPEG」「Tiff」形式のファイルです。



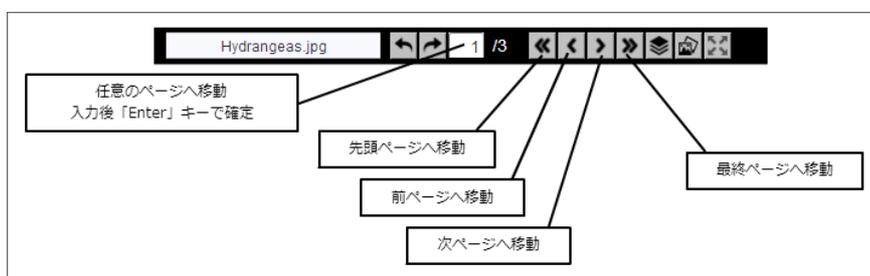
【図：サムネイルにアップロード】



【図：取り込み後の画面】

ページを切り替える

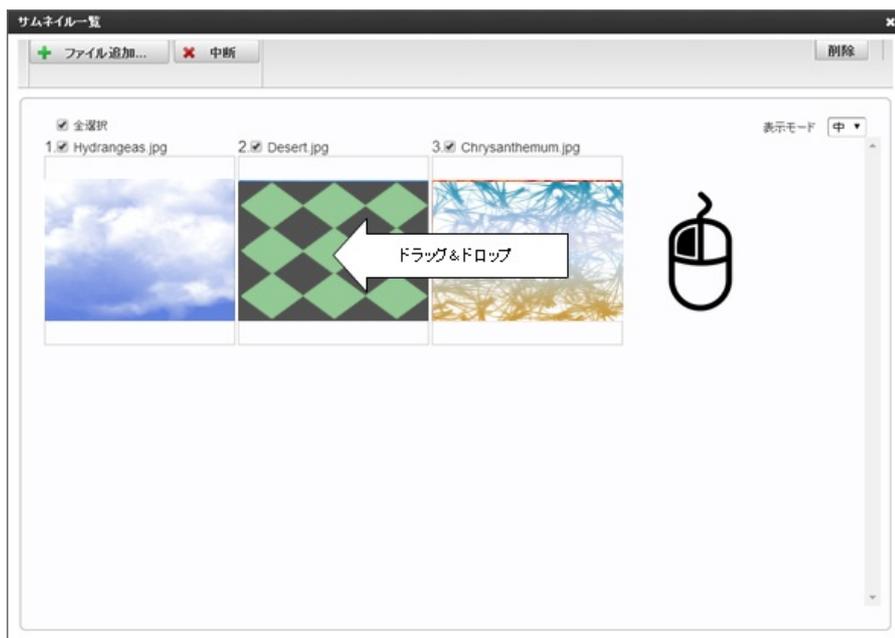
「コントロールバー」の「ページ切り替え」ボタンを操作してページを切り替えることができます。



【図：ページ切り替え】

画像の順番を入れ替える

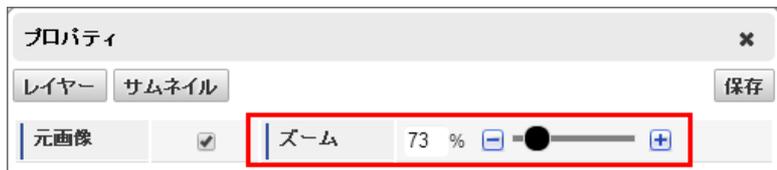
「サムネール一覧」で画像をドラッグ&ドロップすることにより画像の順番を入れ替えます。



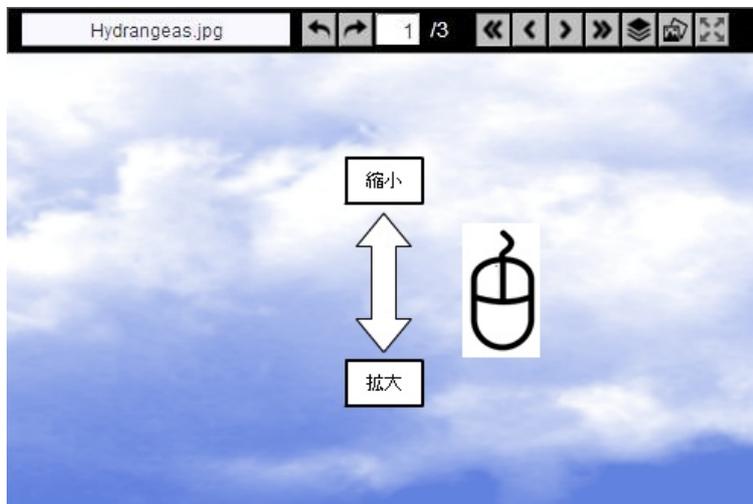
【図：画像の順番を入れ替える】

画像の拡大／縮小を行う

「レイヤーダイアログ」の「ズームスライダー」を操作またはマウスのチルトホイール操作で行います。



【図：ズームスライダー】



【図：マウスによる拡大／縮小】

i コラム

画像を縮小した場合に、アノテーションで追記した線や文字が薄くかすれたり、潰れて見える場合があります。画像を縮小することにより細い線や小さな文字が表現しきれないために発生しますが、追記した内容自体は正常に記録されております。

画像を移動する

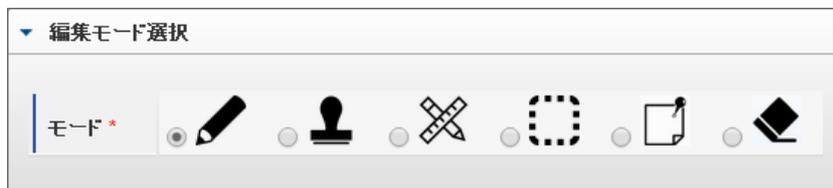
「Canvas上」で「右」ボタンを押下しながらドラッグ&ドロップを行います。



【図：画像の移動】

アノテーションを追記する

1. 「レイヤーダイアログ」から「編集モード」を選択して追記するモードを決定します。

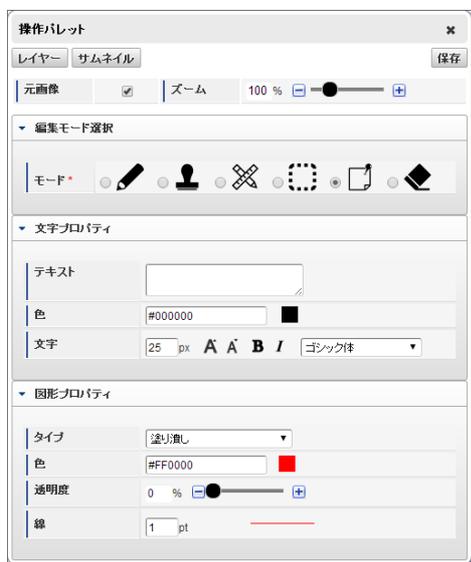


【図：編集モード】

アイコン	編集モード	説明
	pen	フリーハンドモード、マウスの軌跡が反映されます。
	stamp	テキストを張り付けます。
	line	始点から終点までの直線を引きます。
	rectangle	始点を左上、終点を右下とした矩形を引きます。
	annotation	付箋を張り付けます。 始点が補助線の開始位置、終点が補助線の終了位置に設定されます。
	eraser	追記したアノテーションを削除します。 モードとしてフリーハンド、矩形、テキストが選択できます。

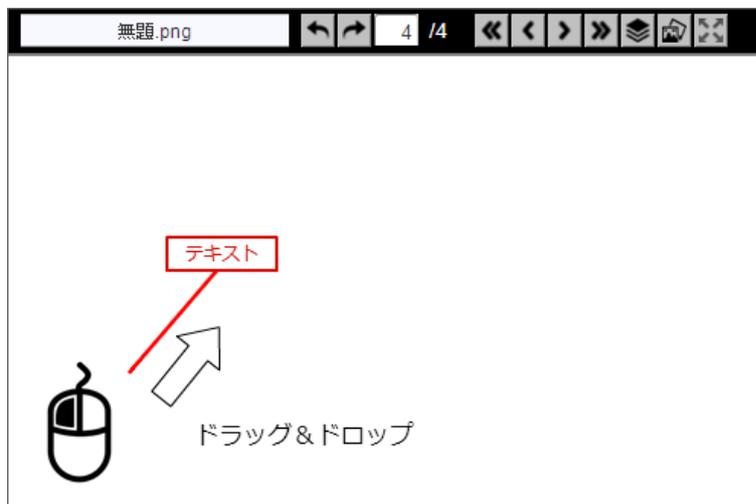
【表：編集モード】

2. 色やテキストのサイズを設定します。



【図：プロパティ設定】

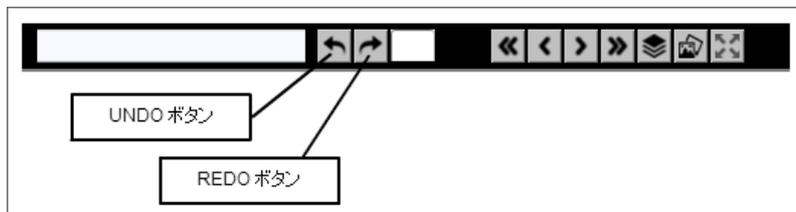
3. マウスの左ボタンを押下しながらドラッグ&ドロップをすることによりアノテーションが追加されます。



【図：アノテーション追記】

元に戻す(UNDO)、やり直し(REDO)を行う

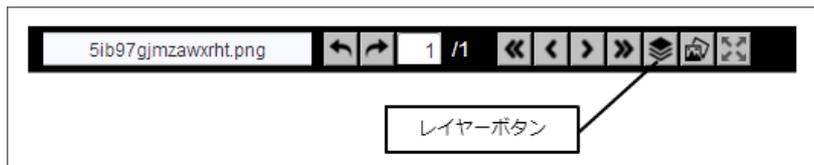
コントロールバーの「UNDO」ボタン、「REDO」ボタンを押下することにより行います。



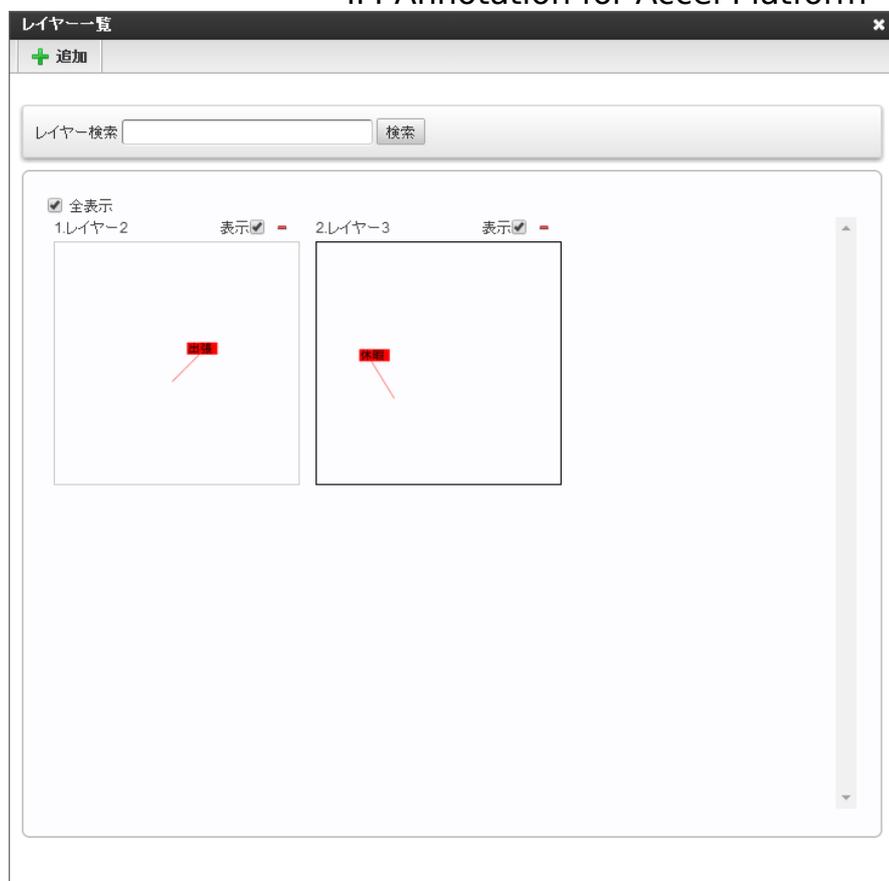
【図：UNDO/REDOボタン】

レイヤー一覧を表示する

コントロールバーの「レイヤー」ボタンを押下することにより、「レイヤー一覧」ダイアログを表示します。



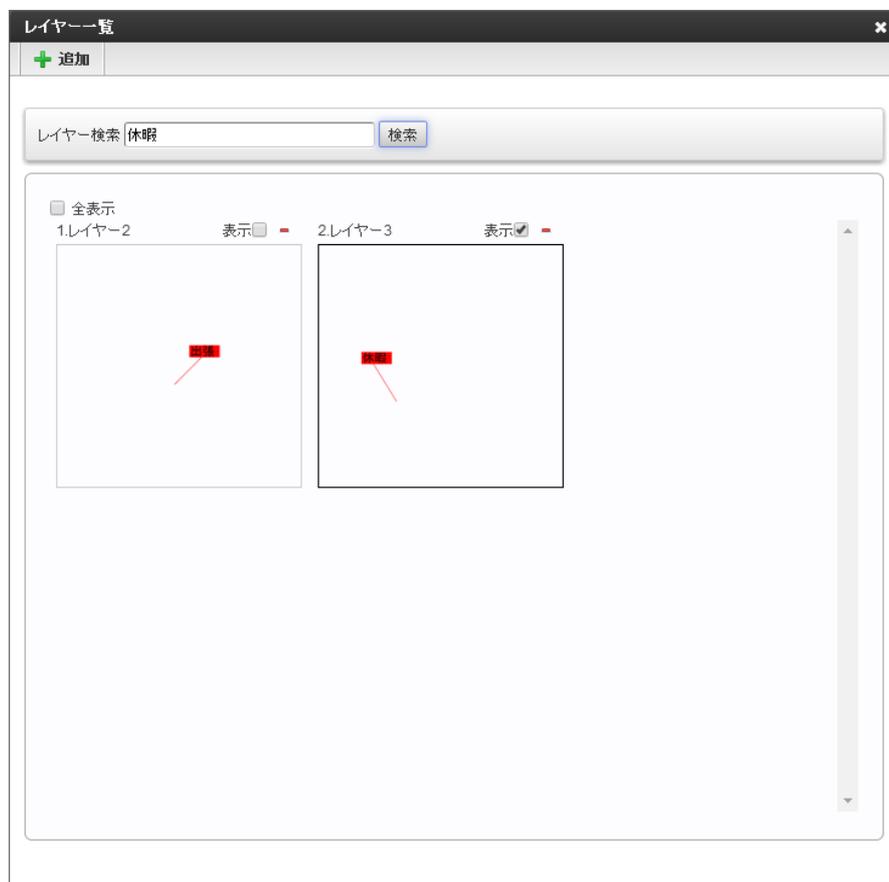
【図：レイヤー一覧表示ボタン】



【図：レイヤー一覧ダイアログ】

アノテーションを検索する

「レイヤー検索」に検索文字列を入力し、「検索ボタン」を押下することにより、テキストが一致するレイヤーのみを表示します。



【図：アノテーション検索】

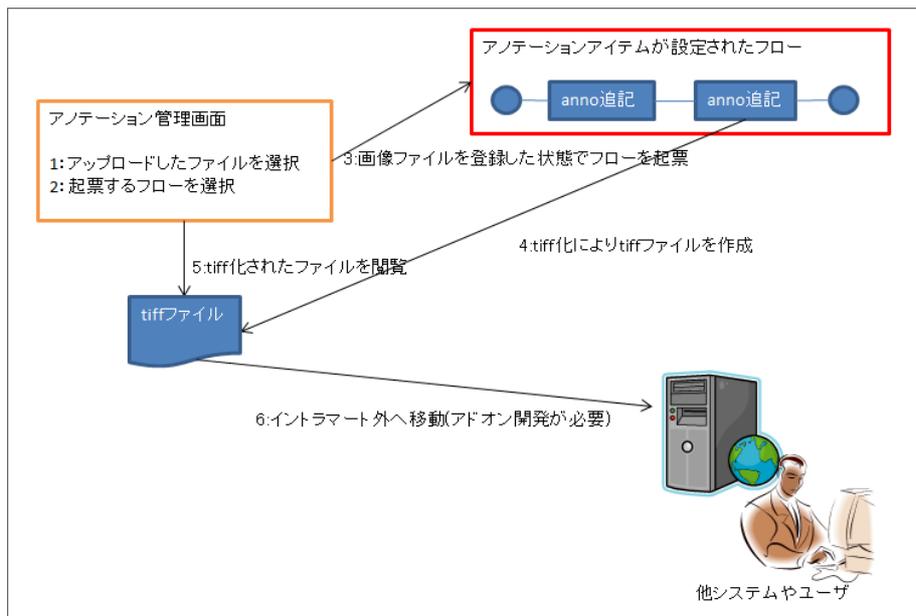


【図：検索結果のレイヤー】

アノテーションを利用する

アノテーション起票画面、管理画面では以下の機能を提供します。

1. スキャナーや複合機等によって取り込まれた、イントラネット外のフォルダに格納されている画像ファイルをイントラネット内のフォルダに取り込む。
2. 取り込んだファイルを選択し、当該の処理フローを起動する。
3. 処理フローに取り込んだ処理中の画像データを閲覧する。
4. イントラネット内のフォルダから外部フォルダに移動する。（アドオン開発）



【図：アノテーション機能】

アノテーション起票画面からフローを起票する

1. メニューから「起票」を選択し、画面を表示します。

アノテーション 起票

起票フロー

案件名

対象Canvas

起票

【図：アノテーション起票画面】

2. 「起票フロー」の「虫眼鏡」アイコンをクリックし起票を行うフローを選択します。

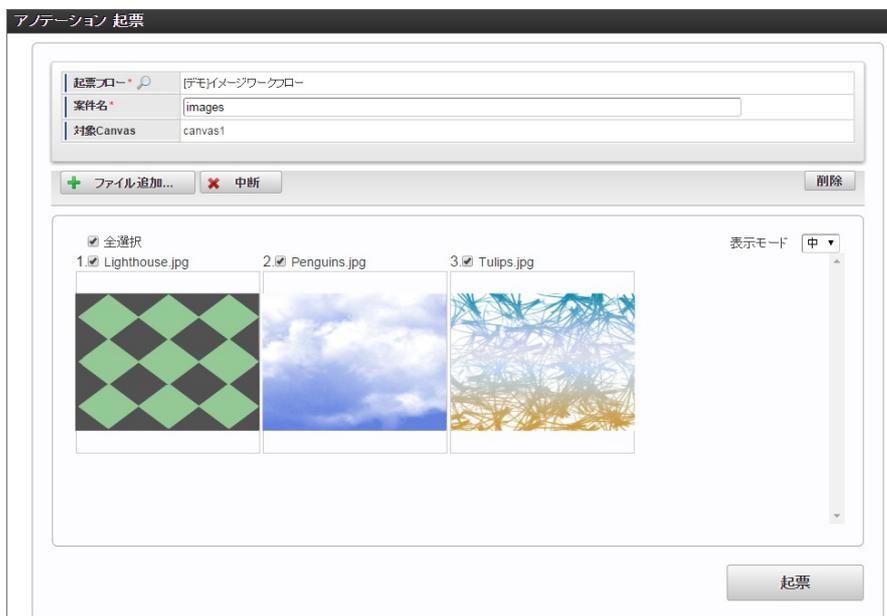


【図：起票フロー選択】

注意

選択したフローにアノテーションアイテムが存在しない場合、「このフローには「アノテーションアイテム」が存在しません」とメッセージが出力され、選択することが出来ません。

- 起票時に登録する画像をサムネイル領域に登録します。
登録方法は「5.1画像を登録する」を参照してください。



【図：サムネイル領域登録】

コラム

選択したフローに二つ以上のアノテーションアイテムが存在する場合、「対象Canvas」のアノテーションID横にある「虫眼鏡」アイコンをクリックして、画像を登録するCanvasを選択します。

- 「起票」ボタンを押下し起票処理を行います。

Tiff化処理の実行状態を確認する

メニューの「アノテーション管理」-「Tiff出力状況」から、Tiff化処理の各タスクの実行状態を閲覧します。

Tiff化処理は、非同期処理にて実行しています。この画面ではエラーとなったタスクをリトライすることができます。

Annotation Tiff出力状況

案件名/アプリケーションID	実行ノード名	AnnotationID	ユーザID	受信日時	開始日時	ステータス	削除	リトライ
Annoテスト		canvas1	aoyagi	2015-02-12 17:05:1		エラー	✕	リトライ

1 ページ中 1 ページ目 15 1 件中 1 - 1 を表示

【図：Tiff化処理の状態】

各部名称	説明
リトライボタン	エラーとなったタスクをリトライします。
削除ボタン	エラーとなったタスクをリトライせず、削除します。

ジョブを設定する

アノテーションでは以下のジョブを利用しています。

- アノテーション一時ファイル削除

ファイルの作成日がパラメータで指定した日数を経過したものに対して、該当のファイルを削除するためのジョブです。画面アイテム「アノテーション」は、エラー発生時のロールバックを考慮して、事前に一時ファイルを作成しています。案件が完了しても一時ファイルは削除されないため、定期的に削除する必要があります。

設定値	説明
猶予期間 (protectedPeriod)	ファイル作成後、削除せずに、一時ファイルを保持する日数を指定します。 ファイルの作成日時から設定値の日数を経過したファイルを削除します。 基本的には変更の必要はありません。
